平成 23 年度 事務事業事後評価調書 (平成 22 年度事業)

整理番号 9 - 46

千円

千円

1 事務事業の表示

1	事務事業の表	示									:該当
事	務事業名	水産加工業緊急支援対策事業									
	価 者	担当課名			産業振興課		担当係名		水産係		
評		管理職	職名		課長		作成者		職名		係長
			氏名		石井 弘	道	11-	ルロ	氏名		中村 文隆
事	業の概要	境の悪化に伴 し、緊急融資 給(融資実行	水産加工業界の加工原料確保及び原油高騰等により、経営環境の悪化に伴う緊急支援対策として、町が一定の金額を預託し、緊急融資(限度額1社15,000千円)・融資に伴う利子補給(融資実行金融機関へ全額補給)・保証料の補給(50%)を平成22年度迄の時限措置として実施。						預託 子補	全体計画 (平成 20 国・道支事 地方信業 その信費 一般販事業費	出金 千円 債 千円 他 215,067 千円 が源 10,432 千円
実	施方法	直営			民間委託	£		その	他()
第 5 期 総 合 計 画(前期)				登載事業	É		非登載	事業	優先度	Α	
		政策	標	1	はつらつ	·雄武~	地均	域産業の	振興~		
		基本が	海	3	水産業の振興						
事	業の位置付け	単 位 旅	1 策	2	経営基盤の強化						
		事務事業の種類			自治事務			法定受託事務			
		その他計画・根拠等									
	実施年度	20年度(実績	• /	年度	医(実績)	1 12		度(実績)		夏(見込)	24年度(計画)
事業費	国·道支出金	千月			千円		千円		千円		千円
	地方債	千F		千円		05.6	<u>千円</u> 35,028 千円			千円	千円
	その他財源 雄武町負担額	100,398 千月	၂	80,2	239 千円	35,0	J28	十円		千円	千円
	(一般財源)	5,140 千F	円	2,5	511 千円		839	千円		千円	千円

2 事務事業の目的·内容(Plan·Do)

【誰、何が(対象)】	町内水産加工業者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論 上の成果指標)						
【抱える課題や ニーズは】	 経営基盤の悪化(加工原料の安定的確 保)	融資実行件数						
	床)	指標(指標計算式/解説) 目標値及び実績値						
		融資実行件数 <mark>目標年度</mark> 2 0 年度						
【どのような状態 になることを目指	緊急支援対策により、経営の安定及び 事業資金の確保を図る。	<mark>目標値</mark> 20件						
したのか(意図)]		<mark>実 績 値</mark> 18 件						
		達成度 90.0 %						
【その結果、どの	金融の円滑化により経営の安定化を推進し、水産加工業の振興を図る。	目標年度						
ような成果を実現		i <mark>I 標 値</mark>						
したいか】 成果 = 目的		実績値						
7XX 1113		達 成 度 %						
内容(どのような手段で何を行ったか)								
利子補給金及び 保証料補給金の 支出	雄武水産加工業協同組合の組合員への融資の斡旋(融資限度額15,000千円)、保証料の補給(50%)、利子補給(平成22年度末までの利子全額を融資実行金融機関に補給)。							

105,538 千円 82,750 千円 35,867 千円

	TT (a)		裏				
3 事務事業の評価(Check) (1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業 を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)							
必要 / 概ね必要 / 課題あり	を美施しない場合の文 義務的なもの 全部 一部		として、町の雇用及び経済に大きな 緊急支援対策として、3ヵ年の補				
	性(期待する効果が得られ	<u>.</u> れたか)					
有効 有効 ^{有効 / 概ね有効 /}	設定した目標値の達成 状況 達成 ほぼ達成	・水産加工業への緊急支援対策と 安定化が図られている。	こしての融資斡旋により、経営の				
課題あり	下回る						
(3)事務事業の効率	性(コストに見合った効果	が得られたか、計画上のコストを	下げる工夫をした か)				
効率的 効率的/概ね効率 的/課題あり	判断の理由 事業費抑制 人員削減 時間短縮・作業軽減 その他	事業費抑制等のコスト削減ができ	ない。				
(4)事務事業の公平							
公平	判断の理由 受益者負担がある 受益者負担がない	本事業は、町の主要産業の一つと 役割を果たしている水産加工業に 助を実施することにより、経営の安					
公平/概ね公平/ 公平でない	受益が一部に偏る その他	者が一部負担している。					
4 総合評価【A ~ D】 A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等							
自己評価	西(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)				
	A						
	融の円滑化により経営の 産加工業の振興が図られ						
今後の展開方 (Action)							
	終了	·					
	度までの3ヶ年事業として 所期の目的が達成され						
*展開方向の区分 継続/現状総	注持又は拡充又は縮小又は	・ 統合又は内容の見直し·変更	·				
F 7 0/LL++37577		対域によるはも 担人は えるじき	7.1.				

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)	